

○●横浜市医療安全メールマガジン<第233号>●○

～ヨコハマeアンケート 医療の知識に関するアンケートを実施しました！～

医療安全メルマガは、患者と医療機関のコミュニケーションギャップを埋めるヒントを発信中！
医療機関へお役立ち情報やお知らせも発信

■ヨコハマeアンケートとは？

ヨコハマeアンケートとは、横浜市が市民の声を市政に反映させることを目的として実施しているインターネットアンケート事業です。市内在住・在勤・在学の15歳以上の事前に登録を行った方々に医療の知識等について回答していただきました。

■医療の知識に関するアンケートの実施

今回、「選定療養費」・「病院の機能分担」等の医療制度の認知度のほか、「医師の診断や治療方針に不安を感じたとき、どのような行動をとるか」・「医療知識の情報の得方」など、受診時等の具体的な行動に関して質問しました。

このうち、『健康や医療に関する情報の入手先（複数回答可）』について設問では、①ウェブページ（77.7%）、②テレビ（56.4%）、③医師・看護師（42.5%）という結果になり、医療情報の入手先として、多くの方がウェブページやテレビを利用していることがわかりました。

しかし、ウェブページには専門性の高い情報から個人の口コミや経験談等まで、様々な情報が掲載されています。そのため「どれを信じていいかわからない」という声もありました。たとえば横浜市医療安全相談窓口には、「ウェブページの情報と異なる治療方針を主治医から言われた」という御相談がよくあります。その場合、相談員は、「医師は、患者の今までの経過や状態を診た上で、それに適していると判断した治療方針を示すこと」また「治療方針に疑問を抱いた場合には、直接医師に相談するようお勧めすること」をお伝えしています。そして、具体的にどこが・どうして異なっていると思ったのかを一緒に考え、主治医等への質問事項を整理するなど助言することで支援しています。

今回のアンケートにより、医療制度の認知度、受療行動、患者さんの考え方の傾向が見えてきたと感じます。「コミュニケーションが大事」ということは簡単です。しかし、現実問題、医療者と患者さんという専門知識も立場も異なる人どうしが「良い」コミュニケーションをとることは、簡単なことではないと思います。横浜市医療安全相談窓口では医療者と患者さんの架け橋となれるように、問題の整理や質問の仕方、相談先を案内してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

詳細のアンケート結果は以下のURLをご参照ください。

https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/kocho/e_anke-to/kekka/R07kekka.files/0037_20251015.pdf

■メールマガジンアンケートはこちらから

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/3f49df6a-ed3b-4367-8f9d-54a92bba0ed8/start>

■バックナンバーはこちらから

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/iryo/anzenshien/iryoanzen/iryoanzenml.html>

■解除・変更：下記URLから、メールマガジンの解除又は変更手続きができます。

<http://ml.city.yokohama.lg.jp/mailman/listinfo/anzenchan>

■発行：横浜市医療安全支援センター（横浜市医療局健康安全部医療安全課）

Copyrights(C) 2008 City of yokohama. All rights reserved.